

第 40 期第 8 回理事会議事録

日時：2019 年 3 月 18 日（月） 13 時 30 分～17 時 00 分

会場：ちよだプラットフォームスクウェア（東京都千代田区）会議室 401

出席理事：岩崎俊樹，瀬上哲秀，青柳曉典，氏家将志，佐藤 薫，塩谷雅人，新保明彦，仲江川敏之，中村 尚，早坂忠裕，平松信昭，渡部雅浩，以上 12 名

Web 会議システムを通じた出席理事：竹見哲也，坪木和久，廣岡俊彦，余田成男，以上 4 名

（理事数現在 20 名）

出席監事：高谷康太郎 以上 1 名

その他の出席者：勝山 税，志村 隆，横手嘉二（事務局）

議 題

1. 協議事項

1) 会員の新規加入等について

新入会 48，退会 23 を全会一致で承認した。2019 年 3 月 12 日現在，会員数 3,417 名で個人会員は 3,185 名。

2. 報告事項

1) 業務執行理事の報告

庶務・・・以下の内容が報告された。

- ・転載許可

なし。

- ・後援名義等使用依頼受付

①名称：日本流体力学学会 年会 2019

主催：一般社団法人日本流体力学会

期日：2019 年 9 月 13 日～15 日

場所：電気通信大学東キャンパス

名義：協賛

- ・寄付金をいただいた方々とその総額について，年度終了後に「天気」で報告予定。
- ・2019 年度総会の次第と，総会資料案の提示。次回の理事会で協議事項に挙げる予定。

会計・・・以下の内容が報告された。

- ・2019 年 1, 2 月分の収支及び現預金検査報告。
- ・2018 年度秋季大会開催経費の決算について。

企画調整・・・以下の内容が報告された。

- ・学会収支改善に向けたさらなる方策について。様々な観点から議論した、当面実施可能な方策として、理事会の回数を維持しつつ経費を削減するため、完全 Web 化を図ることし、技術面での具体的な検討を行うこととした。

2)委員会報告

講演企画・・・以下の内容が報告された.

- ・ 2019 年春季大会の申し込み状況.
- ・ 予稿集編集担当委員 2 名の異動に伴う, 主担当者の交代.
- ・ 予稿集作成業者の決定.

天気編集・・・以下の内容が報告された.

- ・ Vol.66 No.2 (2019 年 2 月)の掲載記事と, Vol. 6 No.3, 4, 5 (2019 年 3, 4, 5 月) の予定記事の報告.
- ・ 掲載料免除申請 1 件.
- ・ 2019 年 2 月 28 日より, Vol.66 No.1 の論文, 短報, 解説の J-Stage への掲載を開始した. 今後は毎月末に前月号のものを掲載されるようになる.

気象集誌編集・・・以下の内容が書面で報告された.

- ・ 論文査読状況.
- ・ Vol.97 No.2 (2019 年 4 月)の掲載予定論文.

SOLA 編集・・・以下の内容が報告された.

- ・ 論文の投稿状況.
- ・ 2019 年 1, 2 月の公開論文リスト.

学術・・・以下の内容が報告された.

- ・ 第 24 期学術の大型研究計画に関するマスタープラン(マスタープラン 2020)において気象学会として提案を予定している「航空機観測による気候・地球システム科学研究の推進」について, 関連学会との連携状況の報告.
- ・ 他の大型研究計画の提案について, 気象学会のサポートの要請が来ている. 具体的には, 京都大学提案の「太陽地球系結過程の研究基盤形成」, 今後の宇宙開発体制のあり方に関するタスクフォース会合・リモートセンシング分科会幹事会提案の「衛星を用いた全球地球観システムの構築」の 2 件. これらは気象学会と深く関連する分野であることから, 連携を目的としたサポートを行うことについて, 理事会にて全会一致で承認した.
- ・ 第 39 期評議員会での議論を踏まえ改訂した「地球観測の強化に向けて日本気象学会は何をすべきかー地球観測の在り方についてー」の天気掲載について. 学術委員会の活動の報告という形で学会だよりとして掲載予定.

地球環境問題・・・以下の内容が報告された.

- ・ 異常気象をテーマとした書籍の出版について, 出版社から提案があった. 普及啓発・社会への貢献という観点から, 気象学会として引き受けることについて理事会にて全会一致で承認された. 地球環境問題委員会の下に編集部会を設置し, 内容の具体は編集部会で検討する.

教育と普及・・・以下の内容が報告された.

- ・ 気象サイエンスカフェの今後の予定.

- ・2019年春季大会の公開気象講演会及びジュニアセッションの準備状況.
- ・気象予報士 CPD 第7回運営委員会が開催され、気象学会から田中博会員（筑波大学）が委員長として、藤部文昭会員（首都大学東京）が委員として出席した.

電子情報・・・以下の内容が書面で報告された.

- ・2月26日から27日にかけて気象学会 HP がアクセスできなかった件の報告. 原因と再発防止策について説明した.
- ・事務局業務の効率化を目的に非営利団体向けのクラウド導入したが、委員会や支部活動にも有用であると考えられることから、電子情報委員会、人材育成・男女共同参画委員会で試用して活用方法を検討する.
- ・オンライン総会参加票の案を作成した.

平成31年4月15日

公益社団法人日本気象学会

理事長 岩崎俊樹

監事 鈴木 靖